

【医療関係者用】日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュールの変更点 2025年5月19日版 日本小児科学会



- ・ 令和6年度のMRワクチンの第1期、第2期対象者に関する特例措置（2025年4月～2027年3月）について記載しました。
- ・ HPVワクチンのキャッチアップ接種の経過措置（2025年4月～2026年3月）について記載しました。
- ・ 国内で利用できる新型コロナワクチン一覧にダイチロナ筋注（5～11歳）の用法用量を追記しました。



ワクチン		種類	乳児期										幼児期					学童期／思春期													
			生直後	6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9-11か月	12-15か月	16-17か月	18-23か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上							
B型肝炎	ユニバーサル	不活化			①	②					③		(注1)																		
	母子感染予防		①	②					③																						
ロタウイルス	1価	生			①	②	(注2)																								
	5価				①	②	③	(注3)																							
肺炎球菌（PCV15、PCV20）		不活化			①	②	③						④						(注4)												
5 種混合（DPT-IPV-Hib）		不活化			①	②	③						④			7.5歳まで				15歳未満まで使用可能											
3 種混合（DPT）		不活化																① (注5)					② 11-12歳 (注6)								
2 種混合（DT）		不活化																							①11歳	12歳					
ポリオ（IPV）		不活化																				① (注7)									
インフルエンザ菌b型（ヒブ） ※アクトヒブ®で初回接種する場合		不活化			①	②	③						④						(注8)												
4 種混合（DPT-IPV） ※4種混合ワクチンで初回接種する場合		不活化			①	②	③						④			7.5歳まで				15歳未満まで使用可能											
BCG		生						①																							
麻疹・風疹混合（MR）		生											① (注10)						② (注9, 10)												
水痘		生											①			②		(注11)													
おたふくかぜ		生											①						② (注12)												
日本脳炎		不活化						生後6か月から接種可能							① ②	③	7.5歳まで			④ 9-12歳											
不活化インフルエンザ		不活化						生後6か月から接種可能					毎年（10、11月などに）① ②								13歳以上①										
経鼻弱毒生インフルエンザ		生													2歳以上～19歳未満に		毎年（10月、11月などに）① 点鼻														
新型コロナ		mRNA											製剤により使用できる年齢が異なる																		
		不活化																													
ヒトパピローマウイルス（HPV）	9価	不活化																													
	2価・4価	不活化																													
ワクチン		種類	生直後	6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9-11か月	12-15か月	16-17か月	18-23か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上							

定期接種の
推奨期間定期接種の
接種可能な期間任意接種の
推奨期間任意接種の
接種可能な期間添付文書には記載されていないが
小児科学会として推奨する期間健康保険での
接種時期



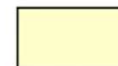
標準的接種年齢と接種期間・日本小児科学会の考え方・注意事項



定期接種



任意接種



健康保険での接種

ワクチン	種類	標準的接種年齢と接種期間	日本小児科学会の考え方	注意事項
B型肝炎 ユニバーサルワクチン	不活化	① 生後2か月 ② 生後3か月 ③ 生後7-8か月 ①-②は27日（4週）以上、 ①-③は139日（20週）以上あける	家族内に母親以外のB型肝炎ウイルスのキャリアがいる場合は、生後2か月まで待たず、早期接種が望ましい	(注1) 乳児期に接種していない児に対して、水平感染予防のために接種する場合、接種間隔は、ユニバーサルワクチンに準ずる
B型肝炎 母子感染予防のための ワクチン		① 生直後 ② 1か月 ③ 6か月		母親がHBs抗原陽性の場合 ・出生時、ワクチンと同時にHB免疫グロブリンを投与する ・ワクチンの接種費用は健康保険が適応され、定期接種の対象から除外 ・詳細は日本小児科学会ホームページ「B型肝炎ウイルス母子感染予防のための新しい指針」を参照 http://www.ipeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=141
ロタウイルス	生	① 8週-15週未満（生後6週から接種は可能） ・1価ワクチン（ロタリックス®）： ①-②は、4週以上あける（計2回） ・5価ワクチン（ロタテック®）： ①-②-③は、4週以上あける（計3回）	生後15週以降は、初回接種後7日以内の腸重積症の発症リスクが増大するので、原則として初回接種を推奨しない	(注2) 計2回、②は、生後24週までに完了すること (注3) 計3回、③は、生後32週までに完了すること ・1価と5価の互換性は確認されておらず、取り寄せるなどして同じワクチンでの完了を最優先させる。定期接種では嘔吐時の再投与は認められていない。詳細は厚生労働省ホームページ「ロタウイルスワクチンに関するQ&A」を参照 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/index_00001.html ・母体が妊娠中に生物学的製剤による加療を受けた児への接種については「免疫不全状態にある患者に対する予防接種ガイドライン2024」を参照
肺炎球菌結合型（PCV）	不活化	①-②-③はそれぞれ27日（4週）以上あける ③-④は60日（2か月）以上あけて、 かつ、1歳から1歳3か月で接種	「小児における肺炎球菌結合型ワクチンの定期接種に関する考え方」を参照 https://www.ipeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=622	・7か月-11か月で初回接種：①、②の接種後60日以上あけて1歳以降に③ ・1歳-23か月で初回接種：①、②を60日以上あける ・2歳-4歳で初回接種：①のみ (注4) 任意接種のスケジュールは日本小児科学会ホームページ「任意接種ワクチンの小児（15歳未満）への接種」を参照 http://www.ipeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=316



標準的接種年齢と接種期間・日本小児科学会の考え方・注意事項

ワクチン	種類	標準的接種年齢と接種期間	日本小児科学会の考え方	注意事項
5種混合（DPT-IPV-Hib）	不活化	①-②-③はそれぞれ20-56日（3-8週）あける ③-④は6か月以上の間隔をあけて、18か月までの間隔で接種する	④は、③から6か月以上をあけて、1歳を超えてから、早期に接種することを推奨する	・5種混合ワクチンは4回までの接種に限られ、小学校就学前の追加接種として使用することはできない
3種混合（DPT）	不活化	初回接種・追加接種に使用する場合 ①-②-③はそれぞれ20-56日（3-8週）あける ③-④は6か月以上あけ、標準的には③終了後12-18か月の間に接種	④は、③から6か月以上をあけて、1歳を超えてから、早期に接種することを推奨する	
3種混合（DPT） 学童期以降の 百日咳予防目的		① 5歳以上7歳未満、3種混合・4種混合・5種混合の④より6か月以上あける ② 11-12歳に接種	（注5）百日咳抗体価が10歳未満で低下することから、3種混合・4種混合・5種混合ワクチンで4回接種を終えた場合の就学前の追加接種として接種することを推奨する （注6）百日咳の予防を目的に、2種混合の代わりに3種混合ワクチンを接種してもよい	・0.5mLを接種
2種混合（DT）	不活化	① 11歳から12歳に達するまで		・0.1mLを接種 ・定期接種の対象は、11歳以上13歳未満 ・制度上は、第1期初回接種2回、追加接種1回として生後3か月～7歳半未満に1回0.5mLで定期接種可能。ただし、現在、DTは0.1mL製剤のみのため、第1期にDTを使用する頻度は低い
ポリオ（IPV）	不活化	初回接種・追加接種に使用する場合 ①-②-③はそれぞれ20-56日（3-8週）あける ③-④は6か月以上あけ、標準的には③終了後12-18か月の間に接種	④は、③から6か月以上をあけて、1歳を超えてから、早期に接種することを推奨する	
ポリオ（IPV） 学童期以降の ポリオ予防目的		⑤ 5歳以上7歳未満	（注7）ポリオに対する抗体価が減衰する前に就学前の接種を推奨	・0.5mLを接種



標準的接種年齢と接種期間・日本小児科学会の考え方・注意事項

ワクチン	種類	標準的接種年齢と接種期間	日本小児科学会の考え方	注意事項
インフルエンザ菌b型 (ヒブ)	不活化	①-②-③はそれぞれ27-56日(4-8週)あける ③-④は7-13か月あける	④は、③から7か月以上あけて、1歳を超えてから、早期に接種することを推奨する	・7か月-11か月で初回接種：①-②の間は27(20)日以上、標準的には、27-56日(4-8週)あける。②の後は7か月以上あけて、標準的には7-13か月あけて③ ・1歳-4歳で初回接種：①のみ (注8) リスクのある患者では、5歳以上でも接種可能
4種混合 (DPT-IPV)	不活化	①-②-③はそれぞれ20-56日(3-8週)あける ③-④は6か月以上あけ、標準的には③終了後12-18か月の間に接種		・4種混合ワクチンは4回までの接種に限られ、5回目以降の追加接種については、3種混合ワクチンかポリオワクチンを用いる
BCG	生	・12か月未満に接種 ・標準的には5-8か月未満に接種	結核の発生頻度の高い地域では、早期の接種が必要	
麻疹・風疹混合(MR)	生	① 1歳以上2歳未満 (注9) ② 5歳以上7歳未満で、かつ、小学校入学前の1年間		・麻疹曝露後の発症予防では、麻しんワクチンを生後6か月以降で接種可能。ただし、0歳で接種した場合、その接種は接種回数には数えず、①、②は規定通り接種する (注10) 令和6(2024)年度内に生後24か月に達した第1期対象者(2022年4月2日-2023年4月1日生まれ)、および、令和6(2024)年度における第2期の対象者(2018年4月2日-2019年4月1日生まれ)であって、MRワクチンの偏在等が生じたことを理由にワクチンの接種ができなかったと市町村長が認める場合、令和7(2025)年4月1日から令和9(2027)年3月31日までの2年間、接種対象期間を超えて定期接種として接種が可能 詳細は厚生労働省事務連絡を参照 https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001440529.pdf
水痘	生	① 生後12-15か月 ② 標準的には①から6-12か月あける	(注11) 水痘未罹患で水痘ワクチンを接種していない児に対して、積極的に2回接種を行う必要がある	・定期接種として接種する場合、①-②の間は3か月以上あける ・3歳以上13歳未満では、①-②の間を3か月以上あける(任意接種) ・13歳以上では、①-②の間を4週間以上あける(任意接種)
おたふくかぜ	生	① 1歳以上 ② 5歳以上7歳未満	(注12) 予防効果を確実にするために、2回接種が必要 ①は1歳を過ぎたら早期に接種 ②はMRと同時期(5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間)での接種を推奨	



標準的接種年齢と接種期間・日本小児科学会の考え方・注意事項

ワクチン	種類	標準的接種年齢と接種期間	日本小児科学会の考え方	注意事項
日本脳炎	不活化	①・② 3歳、①-②は6-28日（1-4週）あける ③ 4歳、②から1年あける ④ 9歳	日本脳炎流行地域に渡航・滞在する小児、最近日本脳炎患者が発生した地域・ブタの日本脳炎抗体保有率が高い地域に居住する小児に対しては、生後6か月から日本脳炎ワクチンの接種開始を推奨する（日本小児科学会ホームページ「日本脳炎罹患リスクの高い者に対する生後6か月からの日本脳炎ワクチンの推奨について」を参照） http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=207	・1回接種量：6か月-3歳未満：0.25mL；3歳以上：0.5mL ・定期接種の対象は、生後6か月から生後90か月（7歳6か月）未満（第1期：①-②は6日以上、③は②から6か月以上の間隔をあける）、9歳以上13歳未満（第2期） ・2005年5月からの積極的勧奨の差し控えを受けて、1995年4月2日から2007年4月1日生まれの児は、20歳未満まで定期接種の対象、具体的な接種については厚生労働省ホームページを参照 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/japanese-encephalitis/index.html
不活化インフルエンザ	不活化	①-②は4週（2-4週）あける		・接種回数：13歳未満：2回、13歳以上：1回または2回（原則1回） ・1回接種量：6か月-3歳未満：0.25mL、3歳以上：0.5mL
経鼻弱毒生インフルエンザ	生	2歳以上～19歳未満にシーズン毎①	喘息や免疫不全者などを除き、不活化インフルエンザワクチンと同等に推奨。詳細は「経鼻弱毒生インフルエンザワクチンの使用に関する考え方」を参照 https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=607	・各シーズン0.2mLを1回 点鼻 （左右の鼻腔内に各0.1mLを1噴霧ずつ、合計2噴霧） ・添付文書には他の生ワクチンとの接種間隔を制限する記載はない
新型コロナ	mRNA 不活化	製剤ごとに定められた方法により接種する		末尾「国内で使用できる新型コロナワクチン一覧」や各ワクチンの添付文書を参照
ヒトパピローマウイルス（HPV）	不活化	中学1年生女子 ・9価ワクチン（シルガード®9） 15歳未満に初回接種を行い、2回の接種で完了する場合は標準的には①-②を6-12か月あける ただし、この間隔をあけることができない場合は、①-②を5か月以上の間隔をあければ接種が可能である	・2価・4価ワクチンで接種を開始した場合は、原則として同じワクチンで3回接種を行う。ただし、9価ワクチンで残りの回数を終了することも可能 ・9歳以上の男性は任意接種として4価ワクチンを3回接種することが可能	・接種方法は、筋肉内注射（上腕三角筋部） ・定期接種の対象は、12歳-16歳（小学校6年生から高校1年生相当）女子（注13）2価ワクチンは10歳以上であれば任意接種可能 4価ワクチンと9価ワクチンは、9歳以上であれば任意接種可能（注14）標準的な接種ができなかった場合、定期接種として以下の間隔で接種可能（接種間隔が3つのワクチンで異なることに注意） ・9価ワクチン（15歳以上で始める場合）： ①-②の間は1か月以上、②-③の間は3か月以上あける ・2価ワクチン：①-②の間は1か月以上、①-③の間は5か月以上、かつ②-③の間は2か月半以上あける ・4価ワクチン：①-②の間は1か月以上、②-③の間は3か月以上あける（注15）平成9-20年度（1997-2008年度）生まれで令和4-6年度（2022年4月～2025年3月末まで）にHPVワクチンを1回以上接種した方は、希望する場合公費で令和7年度（2026年3月）末まで2回目・3回目のワクチンを接種可能 詳細は、厚生労働省のホームページを参照 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html

予防接種チェック表

氏名：生年月日：年 月 日

定期接種任意接種

ワクチン	種類	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
B型肝炎	不活化	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日			
ロタウイルス	生	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日 1価ワクチン（ロタリックス®）は2回	☐ 接種日 年 月 日 5価ワクチン（ロタテック®）は3回			
肺炎球菌 （PCV15、PCV20）	不活化	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日 スケジュールの（注4）参照	
5種混合 または 4種混合 または 3種混合とポリオ	不活化	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日		
3種混合 （学童期以降の百日咳予防）	不活化					☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日
2種混合	不活化					☐ 接種日 年 月 日	
ポリオ （学童期以降のポリオ予防）	不活化					☐ 接種日 年 月 日	
Hib （インフルエンザ菌b型）	不活化	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日		
BCG	生	☐ 接種日 年 月 日					
麻疹・風疹（MR）	生	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日				
水痘	生	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日				
おたふくかぜ	生	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日				
日本脳炎	不活化	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日		
インフルエンザ	不活化 or 生	（毎年の接種が推奨されるので、2枚目を参照）					
新型コロナ	mRNA or 不活化	（毎年の接種が推奨されるので、3枚目を参照）					
ヒトパピローマ ウイルス（HPV）	不活化	☐ 接種日 年 月 日	☐ 接種日 年 月 日 15歳未満で始める9価ワクチン（シルガード®9）は2回	☐ 接種日 年 月 日 2価ワクチン（サーバリックス®）、4価ワクチン（ガーダシル®）、15歳以上で始める9価ワクチン（シルガード®9）は3回			



インフルエンザ予防接種チェック表

氏名： _____ 生年月日： _____ 年 月 日

年齢	第 1 回	第 2 回	年齢	第 1 回	第 2 回
6か月～ 11か月	☐ 不活化 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日	8歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日
1歳	☐ 不活化 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日	9歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日
2歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日	10歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日
3歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日	11歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日
4歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日	12歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日
5歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日	13歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	
6歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日	14歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	
7歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	☐ 不活化 接種日 年 月 日	15歳	☐ 不活化 ☐ 生 接種日 年 月 日	

生ワクチンは各シーズン 1回接種



新型コロナワクチン予防接種チェック表

接種回数は製剤、接種目的により異なる

氏名：

生年月日： 年 月 日

年齢				
6か月～ 11か月	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
1歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
2歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
3歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
4歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
5歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日	
6歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日	
7歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日	

年齢			
8歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
9歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
10歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
11歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
12歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
13歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
14歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日
15歳	製 剤 接種日	☐ 年 月 日	☐ 年 月 日



国内で使用できる新型コロナワクチン一覧（2025年5月時点）

企業名	販売名	抗原株	モダリティ	対象年齢	用量	用法	接種方法
ファイザー 株式会社	コミナティ 6か月～4歳用	SARS-CoV-2 オミクロン株 JN.1系統	mRNA	6か月～4歳	1回 0.3 mL	筋注	初回免疫（過去にワクチン接種歴なし）： 1回0.3mLを合計3回。1回目と2回目を通常3週間間隔、3回目を2回目から少なくとも8週間経過後に接種 追加免疫（過去にワクチン接種歴あり）： 前回のSARS-CoV-2ワクチン接種から少なくとも3か月経過した後に、1回0.3mLを接種
	コミナティ 5～11歳用		mRNA	5歳～11歳	1回 0.3 mL	筋注	前回のSARS-CoV-2ワクチン接種から少なくとも3か月経過した後に、1回0.3mLを接種 ※過去にSARS-CoV-2ワクチン接種歴がない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目を接種
	コミナティ 12歳以上用		mRNA	12歳以上	1回 0.3 mL	筋注	前回のSARS-CoV-2ワクチン接種から少なくとも3か月経過した後に、1回0.3mLを接種 ※過去にSARS-CoV-2ワクチン接種歴がない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目を接種
モデルナ・ジャパン 株式会社	スパイクバックス		mRNA	6か月～4歳	1回 0.25 mL	筋注	過去にSARS-CoV-2ワクチンの接種歴がない者が対象 初回免疫として1回0.25mLを通常4週間の間隔をおいて2回接種
				5歳～11歳	1回 0.25 mL	筋注	前回のSARS-CoV-2ワクチン接種から少なくとも3か月経過した後に、1回0.25mLを筋注 ※過去にSARS-CoV-2ワクチン接種歴がない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目を接種
				12歳以上	1回 0.5 mL	筋注	前回のSARS-CoV-2ワクチン接種から少なくとも3か月経過した後に、1回0.5mLを筋注 ※過去にSARS-CoV-2ワクチン接種歴がない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目を接種
第一三共 株式会社	ダイチロナ		mRNA	5歳～11歳	1回 0.2 mL	筋注	前回のSARS-CoV-2ワクチン接種から少なくとも3か月経過した後に、1回0.2mLを接種 ※過去にSARS-CoV-2ワクチン接種歴がない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目を接種
				12歳以上	1回 0.6 mL	筋注	前回のSARS-CoV-2ワクチン接種から少なくとも3か月経過した後に、1回0.6mLを接種 ※過去にSARS-CoV-2ワクチン接種歴がない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目を接種
武田薬品工業 株式会社	ヌバキソビッド		組換え タンパク	6歳～12歳	1回 0.5 mL	筋注	過去にSARS-CoV-2ワクチンの接種歴がない者を対象として、 初回免疫として1回0.5mLを2回、通常3週間の間隔をおいて接種
		12歳以上		1回 0.5 mL	筋注	前回のSARS-CoV-2ワクチン接種から少なくとも6か月経過した後に1回0.5mLを接種 ※過去にSARS-CoV-2ワクチン接種歴がない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目を接種	
Meiji Seika ファルマ 株式会社	コスタイベ	mRNA (レプリコン)	18歳以上	1回 0.5 mL	筋注	前回のSARS-CoV-2ワクチン接種から少なくとも3か月経過した後に1回0.5mLを接種 ※過去にSARS-CoV-2ワクチン接種歴がない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目を接種	

※今シーズンのみで使用するワクチンと理解するとわかりやすい
※商標は省略し、添付文書とは年齢の表記方法が異なる部分もあるができる限りわかりやすい表現となるように心がけた

